

令和5年度 自己評価結果公表シート

R6. 4. 1.

幼保連携型認定こども園
すえひろこども園

1. 本園の教育・保育理念・目標
理念 ・互いの命の尊厳を尊重し、互いを思いやる心を持つ ・すべての人に生きる夢と勇気と希望を提供する ・常に感謝の心を持つ
目標 ・心身ともに健康な子ども ・友達を大切にし、元気に遊ぶ子ども ・思いやりを持った情緒豊かな子ども ・のびのびと自己を表現する素直な子ども
2. 評価項目
①保育の中身を再確認し、それぞれの子どもに合った保育が出来ているか職員同士で確認し合う。 ②若手職員とのコミュニケーションを密にし、困りごとや悩みがないか確認し、働きやすい環境を作る。 ③職員の資質・専門性の向上を図る為、研修に力をいれる。 ④保護者や子育て家庭の気持ちに寄り添い、さまざまな子育て支援を行う。
3. 評価項目の達成及び取り組み状況(自己評価)
①会議等で保育の進め方を共有し、職員間の認識のズレをなくしていった。 ②若手職員に対し指導者はわかりやすく伝えるよう心掛け、困りごとをすぐに解消できるようにしたが、他クラスの職員とのコミュニケーションをもう少し取れるようにしたい。 ③キャリアアップ研修を中心に、泉佐野市の研修等、近場での研修には積極的に参加し、資質向上を図った。 ④日々の保育での様子や家での様子をお互いに情報交換し子育て支援を行った。また、保護者から提供して頂いたオムツ等の提供をするなど、地域の子育て家庭の支援も行った。
4. 本年度、重点的に取り組む目標・計画
①不適切な保育について職員同士で再確認し、日々の保育を進めていく。 ②若手職員とのコミュニケーションを密にし、困りごとや悩みがないか確認し、働きやすい環境を作る。 ③保育中に非常災害が起こった場合を想定し、落ち着いて行動できるよう訓練する。 ④保護者や子育て家庭の気持ちに寄り添い、さまざまな子育て支援を行う。

令和5年度 自己評価結果公表シート

幼保連携型認定こども園
こだまこども園

2024.3.31

1. 本園の教育・保育目標

保育教育理念

- ・入園児童及び地域の子どもの健全な人間関係を図る為、児童福祉の理念に基づき、一人ひとりの最善の利益を尊重し、福祉の増進を図る。
- ・一人ひとりの子どもの尊厳を大切にするために、すべての大人が正しい観念を持ち、子どもや子育て家庭への理解と支援を積極的に行っていく。
- ・児童福祉を積極的に進めるために職員は、利用者（子ども、保護者）の立場を尊重し、利用者一人ひとりのニーズに応じてきめ細やかな保育を提供していく。

保育教育目標

- ・よく遊びよく食べよく眠る健康な子ども（生きる力）
- ・何事にも興味を持ち意欲的に遊び、自分の思いを表現する子ども（心ひらく力）
- ・友達と一緒に遊び、共に協力して活動できる子ども（共に育つ力）

2. 評価項目

- ① 基本は通常通りの行事で進めていく。
- ② 災害等により迅速に対応できる組織作りの強化
- ③ キャリアアップ研修の充実

3. 評価項目の達成及び取り組み状況（自己評価）

- ① 感染症対策を引き続き行う中で、通常の行事等で行うことが出来た。
- ② 災害対策として、各種訓練を行い、迅速な対応が出来たが、BCP計画を作成する中では備蓄品の一部欠落が見られたのでその辺りを重点的に確保していく。
- ③ キャリアアップは各自計画通り研修が受けられており、個々の資質向上につながっている状況。

4. 来年度、重点的に取り組む目標・計画

- ① 保育の普段の様子を見てもらえるようなクラス参観の構築。
- ② 園児の筋力体力の向上
- ③ 様々な経験、体験が経験できる行事設定。